

住 支 第 3 6 3 号
令 和 8 年 3 月 日
大阪府立住之江支援学校
校 長 三 宅 康 寛

令和 7 年度 第二回学校保健委員会 記録

出席者:20名

(校長、教頭 2 名、学校医、学校薬剤師、PTA 役員 2 名、首席 3 名、健康安全部長、学部主事 3 名、保健主事 3 名、
養護教諭 2 名、栄養教諭 1 名)

1. 開会 管理職あいさつ

もう2月の終わりで、残すところ今年度の学校生活というのが、あと1ヶ月で終わろうとしています。今年度、4月から非常に暑い日がスタートしていました。長い期間暑い日が続き、まずは熱中症の対策だったり、子どもたちの安全な教育活動をどんな風に守っていったりするのかを模索しながら対応していきたいと思っていました。そんな中で、いろいろな不安を抱えながら、自分たちの課題を少しずつ克服して学校生活を送っていくことができたという風に思います。また、万博はもう遠い彼方のようにはなってしまっています。今年度は忙しい1年になったと思います。熱中症の期間が終わり、次はインフルエンザの流行となりました。本校は年末だけ少し増えましたが、一旦落ち着きました。再度、B型が流行しているということ、報道でも聞いております。熱が出ないケースがあったり、子どもたち自身の健康観察も難しい状況であります。本校は特に流行の影響を受けているということは聞いておりませんので、このまま落ちついてくれればと思っています。

本校の保健に関する取り組みと見ていただきながら、ご意見を頂ければと思っておりますのでどうぞよろしくお願いします。

2. 自己紹介

3. 学校保健活動まとめ

1) 保健室利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
R6	132	266	243	181	16	200	244	201	164	140	1787
R7	182	225	259	164	10	244	286	205	194	135	1904

質問 季節の変化など利用される理由もそれぞれ違いがあるのか。

回答 4月は新しい環境での変化でメンタル内科的な来室多い。5月、6月は運動会の練習などがあったり、暑くなったりして体調を崩す児童生徒が多かった。11、12月の冬頃になると、発熱やインフルエンザや感染症関連の来室が増える。

2) 健康安全部の取り組み

【体育係】

- 運動会
- プール

入水回数

学部・学年	入水回数／入水予定回数	学部・学年	入水回数／入水予定回数
小学部	8／10	高等部1年	4／6
中学部1年	6／6	高等部2年	5／6
中学部2年	6／6	高等部3年	5／6
中学部3年	4／6		

*暑さ指数が31を上回ったときや、雷等で中止している。

- 救急蘇生法講習会

質問 救急蘇生法講習会の中にAEDの練習も含まれていますか。

回答 はい。

【保健係】

- 保健行事

- ・定期健康診断の日程調整、児童生徒への事前指導と事後指導
- ・学校保健計画、学校安全計画の作成

- 保健指導

- ・生活リズム表(小中)作成、配付 ・学校歯科医による歯磨き指導 ・手洗い指導
- ・けんこうタイムの計画、実施(後期保健委員で撮影・2月放送)
- ・保健室出前授業(全学年)今年度より実施、薬物乱用防止教室、保健室前掲、ほけんだより/歯みがきカレンダーの発行

- 緊急時対応訓練(今年度より全学年実施)

- 熱中症対策

- ・熱中症対策の計画、提案 ・実施期間内 WBGT 測定器の設置(6~9月) ・体育館の空調の使用方法

- ヒヤリハット・インシデント

- ・ヒヤリハット・インシデント報告の全体周知 ・報告書の管理と年度末まとめの作成、報告

- 児童生徒委員会活動

- ・手洗い週間のポスター作成、動画撮影 ・けんこうタイムのポスター作成、動画撮影
- ・清潔しらべの実施 ・全校集会での発表

質問① WBGTを設置して、実際に活動を休止した回数ほどのくらいですか。

回答① プールは2回、中止となった。体育館は冷房がついているので、外で活動できないときは体育館で活動しています。

質問② 今年度、初めて保健室の出前授業をした時のそれぞれの学部の子どもたちの反応等がありましたか。

回答② 保健主事の先生たちと学年の困り感を事前に聞いて、それに沿ったテーマを提案し、授業を行った。保健室の先生が授業をすることで新しい感じがして、比較的みんな集中して聞いてくれました。先生たちからも「子どもたちがすごく集中して聞いていました。ありがとうございます。」という反応がありました。

質問③ 出前授業ではどのようなテーマで行ったのですか。

回答③ 系統立てて性教育を行うということが目的でした。小学部低学年では、清潔をテーマに、手洗いや歯磨き指導、高学年では、男女のからだの違いや第二次性徴について行いました。中学部では、距離感やふわふわ言葉やチクチク言葉についての学習をしました。高等部では、男女の付き合い方や同意のある関係、携帯の使用について、また高等部3年生は社会人になるにあたって、備えておきたい力ということで行いました。

質問④ 出前授業について実際に取り組みを聞いて、取り組んでほしいことや学んでほしいことはありますか。(保護者に向けて)

回答④ ・性教育はなかなか教えるのが難しいので、続けてやってほしいです。
・距離感の学習。男の人だからとか女の人だからというのはわからないため、続けてほしいです。

質問⑤ 緊急時対応訓練をやってみてどうでしたか。

回答⑤ ・小学部ではこれまでも独自にプールの前にてんかんの緊急時対応訓練していました。今年度はけがについての訓練をしました。一回目の低学年の際は全体を見る人がいなかったため、二回目の高学年の際は低学年が見て、お互いに意見をし合うという方法に変えました。来年度もお互いを見合って反省も含めて実施していきたいと思っています。
・中学部ではてんかん発作やプール内での事故を想定し、プール内で溺れている生徒の対応について訓練しました。実際にやってみて動きを確認していく中で、こういう時には、どのような応援が必要なのか、また管理職の対応が必要ということがわかったので今後も取り組んでいきます。
・高等部ではてんかん発作の訓練を行いました。実際に訓練を行った後にてんかん発作が起きた生徒がおり、練習ができてよかったと感じました。

【給食係】

●給食指導

●食育指導

- ・食に関する指導の全体計画(4月) ・給食カレンダーの発行 ・給食ニュースの発行 ・おはなし給食の実施
- ・給食掲示板 ・今週、本日の給食掲示
- ・給食週間の取り組み(ビデオ放映、調理員さんへの手紙作成、リクエスト給食、資料)

●PTA 給食試食会

●給食関連

- ・アレルギー対策会議の開催(年2回) ・エピペン研修会の計画、実施(4月)
- ・給食人員変更届(長期欠席、行事等に伴うもの) ・アレルギー対応、除去食などの業務
- ・外食に伴う食事選定会議(随時)

●児童生徒委員会活動

- ・給食ポスター、給食カレンダーの作成 ・学校給食週間のビデオ作成 ・全校集会での発表
- ・調理員さんへのお手紙作成 ・リクエスト発案

栄養教諭より補足 今年度は全体計画の目標として噛む力を伸ばすということで、「噛む」をテーマにしています。6月と11月にかみかみ献立週間で、噛むことを啓発しながら、献立の中でよく噛まないといけない食材や調理法を工夫して、給食を提供しました。子どもたちもそのような献立の時はすごく集中して取り組んでいたと感じています。また、令和7年度から「大阪府立支援学校食物アレルギーマニュアル」ができ、その中で外食に関して注意を払うべきだという指示がありました。今年度より、校外学習で外食をする際や、宿泊学習、修学旅行で食事を行う際にはどういった内容の食事をするのか、どういった子に対してアレルギーの対応を行っていくのかということころを安全面を考えた上で、選定会議を行うようにしています。

補足1 給食の指導の中で、毎日の給食メニューが書いてある献立の中に給食クイズがあり、クイズへの興味関心がある。中学部では、食育の指導や中3の生徒が育てた野菜を給食で使っていたで喜んでいました。

補足2 高等部では、栄養教諭より出前授業をしていただき、今年は大阪・関西万博について学習した中で世界の料理として生徒が考えた料理を出してもらい喜んでいました。

質問 学校給食週間のビデオ撮影等で気を付けている事や大変な事はありますか。

回答 給食週間の取り組みとして、毎年給食室で給食ができるまでの様子をビデオ放映しています。給食委員会の中でどんな給食の献立の動画が見たいかというのを募ったときに今年度はユーリンチーが見たいという話があったため、から揚げを生肉のところからユーリンチーに出来上がるころまでの様子を撮影させてもらいました。給食室はいろいろな機械があり、いろいろな音があるので、子どもたちが気になりすぎないように音量調節をしたり、いろいろな調理器具の説明ができるように子どもたちと協力しながらクイズ形式にしたりしている。

【防災・安全係】

- 安全点検

- 防災
 - ・防災計画の作成、配付(4月) ・防災マニュアルの確認、配付 ・火災避難訓練(6月、2月)
 - ・地震津波避難訓練(2月) ・防災教室(9月) ・新引継ぎカードの立案、作成
 - ・児童生徒緊急時引継ぎカード(新入生への案内、在校生の変更等の確認)

- 教職員研修
 - ・防災研修 ・引継ぎ訓練シミュレーション

- 備蓄品管理

質問 今年度より実施した引継ぎ訓練の反省点や来年度の課題はありますか。

回答 地震・津波避難訓練と引継ぎ訓練がありました。子どもが安心して待機できる場所や避難できる場所について、しっかりと精査して子どもたちが安全に待機できる場所で引継ぎ訓練をしていきたいと考えています。

【交通・防犯係】

- 安全指導

- 安全教室

- 防犯研修

- その他

- 看護当番

【美化係】

- 清掃関連

- 物品管理

- 害虫駆除

- 児童生徒委員会活動

質問 害虫駆除でネズミ等が出た目撃情報などはありますか。

回答 目撃はなく、最近では駆除に関しての問題はありません。また、駆除ではないが、イタチが校内に入り、フンをすることがありました。

【通学バス係】

●通学バス運行業務

- ・運行ルート、ダイヤ作成 ・総合名簿作成 ・教育委員会提出書類作成
- ・通学バスと放課後等デイサービスの出庫、送迎車誘導 ・通学バス乗車確認表(バス、デイ表)の毎月の入力
- ・校外行事のバス利用届の作成、配付 ・バス乗務員対象の緊急時対応研修の実施

質問 バス乗務員対象の緊急時対応研修とはどのようなものか。

回答 養護教諭よりてんかん発作やアレルギーの症状が出た時にどのように対応したらよいのかを伝えている。顔合わせも兼ねている。

3) 各種委員会について

- ・学校保健委員会 ・医療的ケア検討委員会 ・緊急時対応委員会(防災・防犯・感染症)
- ・給食委員会 ・食物アレルギー対応委員会 ・運動会実行委員会 ・通学バス委員会

4. 手洗い動画・けんこうタイム 視聴

前期の活動では手洗い、後期の活動ではけんこうタイムの撮影を行った。

ポスターの準備や台詞を読んだり、発表をしたりして緊張している生徒もいるが頑張っている。

5. 学校三師より

- 1) 学校医 ・インフルエンザの流行があったが、最近では減ってきている。先週くらいから警戒レベルを下回るようになってきています。しかし、ゼロになっているというわけではないです。また、必ずしも熱があるわけではありません。少し体の調子が悪いという場合でも検査したら、インフルエンザB型が出る場合があります。そういう状況であるため、学校の中でも熱があるなしだけで見るのではなく、体の全体を見る必要があります。他校では学級閉鎖が出るほど流行っていたが、本校ではそこまででした。素晴らしいことですので、引き続き今のペースで頑張っていたいただければありがたいと思っています。
- ・R7～アナフィラキシー補助治療剤の新しいタイプ(ネフィー)が出ました。筋肉注射ではなく点鼻薬なので痛くないです。また、学校内で先生たちが投与するときにそんなに緊張して行う必要がないというメリットがあるが、発売されたばかりなので、正確な評価というものがまだ定まっていません。個人的にはエピペンがメインであり、ネフィーがサブと考えています。これから使えるようになっていくと思います。すぐに効くのは体内に入れることができる注射です。

補足1 今使われているという現状がないため、今後もエピペン研修をしつつ、学校医と連携して、教職員に伝えていきたい。大阪府教育委員会からの通達はまだない。

補足2 もう少し情報を収集し、発信できるようにしていく。

- 2) 学校薬剤師 毎月、何らかの検査で訪問しているが、基本的に問題はないです。今後とも気を付けて検査をしていきたいと思っています。

6. 質疑応答

質問 インフルエンザがご家庭の周りや地域の周りで流行っていましたか。(保護者に向けて)

回答 年末までの方がよく流行っていました。保育園が流行っていました。A型もB型も聞いたことがあります。

7. 校長より

学校の安心安全の取り組みというところで本校の取り組みを説明させていただきました。情報が多すぎて、何を質問すべきなのかが、見当たらないと思います。来年度に向けて、テーマを絞って、具体的な取り組み活動を発表し、質問がしやすいような方法で考えていきたいと思います。今回、初めての取り組みで、災害時における引継ぎ訓練をシミュレーションしました。これは実際に保護者に迎えに来てもらう想定で行いました。実際に引継ぎ訓練をした中で、緊急時引継ぎカード等がスムーズに行かなかったり、こちらが確認しているつもりでも少しずれていたり、校内の引継ぎの体制がうまくいかず、学校に早く来ているのに引継げなかったなどの課題が見つかりました。また、新しく緊急時対応訓練を行い、実際に起こると先生たちも冷静に対応できないことがあるので、それをシミュレーションしてマニュアル化したいと思います。また、対応マニュアルを見れる場所に貼っておくようにし、子どもたちの安心安全を確保していきたいと思っています。まだまだ課題があるので、たくさん洗い出しながらより良いものにしていかなければいけないと思います。最後に、感染症のことについては、昔であれば寒い時に感染症の対策をしていれば良かったですが、インフルエンザも暖かい時でも感染することが出てきました。また、コロナの時には手洗いうがい、マスクをしっかりとしましたが、感染症の対策が少し薄れてきたように思います。自分がコロナになってマスクの威力がかなり大きいことに気づきました。学校でも流行の時だけでなく、感染症の対応について何かできる事はないかということをや積み重ねてやっていきたいと思っています。学校医の先生、薬剤師の先生方からもご助言を頂けますと幸いです。また、保護者の方からも、学校での取り組みについてや、ご心配に思われることなどがありましたら、ご意見をいただけたらありがたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。本日はどうもありがとうございました。

以上